

Lion

IWATE

2020.10



332-B 地区アクティビティスローガン

サーバントリーダーを目指し!

地域にインパクトを!!



あなた方を忘れない

釜石・陸前高田 慰霊碑献花式

取材 ライオンいわて副編集長 L. 藤崎 信男 (江釣子 LC)

編集委員 L. 田村 浩美 (和賀 LC)

8月下旬、菊池徳男ガバナー一行が釜石と陸前高田に建立された慰霊碑への献花に行かれるということでライオンいわて編集委員のL. 田村浩美(和賀LC)とともに取材させて頂きました。この慰霊碑は2011-2012年度に就任されていた故高橋晴彦ガバナーのもと、東日本大震災で亡くなられたライオン・家族会員・事務局員の霊を慰めるため建立されました。表には晴彦ガバナーがアクティビティスローガンにも挙げられた“友愛”の文字、裏には亡くなられた方々のお名前とともに“あなた方を忘れない”と刻まれています。

釜石 慰霊碑献花式(釜石市大平墓園)

8月19日、北上を出発し江刺田瀬ICから釜石自動車道でおよそ1時間半。お盆も過ぎ例年でも海へ向かう人は減っている時期とはいえ、渋滞もなくスムーズに沿岸地方へ向かうことができました。

先行して釜石入りした取材陣は、ラグビーワールドカップ2019が行われた釜石鶴住居復興スタジアムへ。当日は試合などもなく静寂に包まれていましたが、スタジアムの周りへ目を向けると防潮堤や道路の整備のため行きかうトラックが砂煙をあげており、復興いまだ半ばという景観でした。

その後、鶴住居駅前地区公共施設うのすまい・トモスにある釜石祈りのパーク、いのちをつなぐ未来館の両施設を見学。祈りのパークでは東日本大震災でこの地を襲った津波の海拔11mを表すモニュメントを目の前にし、改めて牙をむいた時の自然の恐ろしさを感じました。

同じ施設内にある漁協直営の食事処でおいしい海鮮を頂いた後、慰霊碑のある大平墓園に移動、午後3時前に菊池ガバナー一行と合流しました。釜石に建立された慰霊碑は、その基礎石に故L.野館邦夫の邸宅にあった庭石が使われていると釜石LCのL.大和田よりご説明頂きまし



献花後の記念撮影。両脇に釜石 LEO の皆さんが整備している花壇がある

た。L.野館は奥様息子様とともに津波によって亡くされ、ご自宅も流されたとのことでしたが、辛うじて残った庭石をご遺族の了解を得て基礎石にされたとのこと。また、慰霊碑の周りには花壇があり、釜石レオの皆さんが毎年整備されているとのことでした。

当日は外気温 34 度の中ではありますが美しく整備された墓園と、眼下に広がる静かな海に心穏やかな雰囲気の中献花が執り行われました。献花の後 L.菊池ガバナーより、「震災から 10 年を迎える期に、慰霊碑建立に携われた故高橋晴彦ガバナーと同じ 2R2Z 所属のガバナーとして縁を感じる。今後も縁を大事にしていきたい

い」と、支援を継続する約束を含んだご挨拶を頂きました。釜石リアス LC の L.永澤光雄会長からは、「今後も“友愛”を大切にしていきたい」とご挨拶頂き、献花式を終了しました。

献花式の後、L.大和田にさらにお話を聞いていると、「慰霊碑のお陰で全国の LC の方がこの地を訪れた際、多くの方に立ち寄っていただける。そのような中で全国の LC との縁を結ぶことができた」と話されていました。コロナ禍の中、他県への移動は儘なりません、同じ 332-B 地区の方にはぜひ一度立ち寄っていただきたいと思いました。



釜石鶴住居復興スタジアム入口にある電波時計 (CN50 周年記念釜石リアス LC 寄贈 2018.10.14)



うのすまい・トモスにあるいのちをつなぐ未来館



陸前高田 慰霊碑献花式 (陸前高田市竹駒町相川)

翌週の24日には陸前高田での献花式に伺いました。前回同様にガバナー一行より先行して出発、釜石へのルートと同じく釜石道を東へ。途中の宮守ICで高速道を降り、107号線を南下して1時間半、陸前高田市気仙町にある東日本大震災津波伝承館いわてTSUNAMIメモリアルに伺いました。この施設は“東日本大震災津波による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記録と教訓の後世への伝承とともに、国内外に向けた復興に対する強い意志の発信のため、岩手・宮城・福島の3県に一つずつ、国と地方公共団体が連携して復興記念公園を整備し、国営追悼・祈念施設を設置するものです。”(同施設パンフレットより引用)との理念通り、荘厳な施設でありました。天気は快晴とは言え平日の月曜日、来場する方も少ないのかと思いましたが、駐車場には多くの車やバスが。県外ナンバーもちらほらあり、歩いている人の中には説明を聞き入りながら見学する外国人の方も

いらっしゃいました。全国的に有名になった奇跡の一本松の先には震災遺構の陸前高田ユースホステルの見るも無残な建物があり、かと思えばそのさらに先には気仙川の河口にかかる巨大な防潮堤が一度に視界に入り、どこかのテーマパークのようであの日ここで起こったことではないかのような光景でした。

こちらの施設には道の駅も併設されており、お土産店や食事処もあったのですが、混雑した施設内での食事を諦め“アバッセたかた”内にて海鮮丼をほおぼり、ガバナー一行と合流して相川地区へ。陸前高田の慰霊碑は陸前高田LCが管理するライオンズの森の中にありました。陸前高田原産のベニヤマボウシが植えられた高台の森からは、津波が逆流して行った気仙川が整備されていく様子や、復興の資材を運ぶ三陸道の高架橋を望むことができます。陸前高田LCのL.遠藤健司会長にお話を伺うと、「この慰霊碑は建立当初はクラブ事務所の近くにあり



奇跡の1本松。この先に旧陸前高田ユースホステル(震災遺構)がある



津波の力を想像させる。陸前高田ユースホステルの震災遺構と津波で流された消防団の車



堤防側から東日本大震災津波伝承館いわてTSUNAMIメモリアルを望む



気仙川を望む高台に建立された慰霊碑。あたりには様々な樹木が植えられ四季を彩っていた

ました。その後、ライオンズの森を整備してこちらに移設したのです。クラブのメンバーの半分以上が震災の後の入会なので、この森の整備を通して先達のなしてきたことを伝える機会となっています。」とのことでした。

L. 菊池徳男ガバナーの献花・ご挨拶に続き、ご挨拶いただいた4R2ZのL. 栗村安弘ZCから、「この慰霊碑を見るたび、亡くなられた方々を鮮明に思い出す」とのお話があり、過去の出来事にするにはあまりにも大きな心の傷であり、しかしなお残された者としての役割を果たそうとされている姿が印象的でした。献花式に参加された方々はそのあとガバナー公式訪問の会場に移動するとのことでしたので、私は北上への帰路につきました。

この取材を通して、変わらないもの、変わったもの、変わって行くもの的一端を見てきました。市街地は以前より美しい街並みになり、穏やかな海と整備された震災関連の施設は、何十年か先には人々を集めるテーマパークになってしまうのかもしれませんが。それも復興の一つの形として正解なのかもしれません。しかし風化させてはいけない、後世に伝えなければならない事が確かにあります。全世界のライオンズから力を貸していただきながら、必要とされるアクティビティを行っていた当時をこの慰霊碑を見ることで思い出し、友愛の心をもってサーバントリーダーに近づけるよう日々を過ごしていきたいと感じました。

IRIZ

盛岡LC、盛岡不来方LC、盛岡中津川LC、盛岡観武LC
盛岡南LC、滝沢LC、玉山姫神LC

IRIZ ゾーンチェアパーソン
L.小苺米 基弘 (盛岡不来方LC)

ガバナー公式訪問

本来であれば、8月18日(金)に開催される予定で準備を進めておりました。

しかし、7月29日、当地区の盛岡で、県内初のコロナ感染の情報が飛び込みました。

その後、盛岡地区での感染が爆発的に拡大する可能性もある!!という事も想定し、急遽L.照井キャビネット幹事に、開催日延期の打診し、承諾を得て、9月4日での公式訪問という経緯がありました。

その間、開催会場の手配も、さらなる感染防止策を加えながら準備を進め、密にならぬよう大きな会場にて、対面にならぬ様配慮し、検温、消毒、食事はテイクアウト弁当、飲み物はペットボトル飲料にするなど、未知の経験した事のないウィルスに対し、考えられる範囲で、関係各位には、数々の無理難題をお願いし、参加される方々の感染防止策を施しました。

さて当日は地区ガバナー・クラブ四役懇談会のあと、同じ会場にて引き続き地区ガバナー公式訪問を行い、参加人数は、地区ガバナー並びにキャビネット構成員、各クラブ四役で参加者36名。こちらも、マイクは1回ごとに消毒するなどコロナに配慮した形でおこなわれました。

次第に沿い、参加者の紹介、盛岡不来方LC会長L.樋口一男より歓迎の言葉、そして地区ガバナーの紹介のあとのガバナーの挨拶。コロナ禍の中、時間を短く、密にならぬよう、一般会員を呼べない中での公式訪問の経緯の説明とお詫び。そして、山形の最上川の災害の問題、蝶ネクタイに白いタキシードを着用せず、平服のまま参加をした経緯。

『震災から約10年復興をいろいろやっている中でのコロナの問題。いろんな因果を感じている。ガバナーを努めるにあたり、副地区ガバナーの時から準備をしなければならない。』

『その中で先般のガバナーから聞いた言葉、ライオンを好きでやっている、新鮮味を感じました。非常に難しい判断が必要とされているので、会員のみなさんには忌憚のないご意見を頂戴したいです。』

アクティビティスローガン「サーバント・リーダーを目指して」の説明。

『支えるリーダー、地域を支えて、クラブを支えていけば何か動く事で、地域にインパクトを与える事になる、という事でサーバントリーダーという事にしました。』

『当たり前を当たり前・自分の信条としてしている・・・父親と話をしている事。』

『当たり前をどこに持っていか?実行力がなければ、自分の生き方をテーマに掲げました。』

『異例の船出の中、できることからやりたい。皆さんのお蔭で公式訪問が実現できる事に感謝するとともに、コロナ対策を考えながら進めていきたい。』

L.菊池ガバナーのご挨拶のあと、次第に則り、公式訪問記念品の贈呈、キャビネット幹事報告、会計報告、ライオンズローア後、無事閉会。

テイクアウトの弁当を各自お持ち頂き、コロナ禍の公式訪問、無事終了いたしました。

このような状況下、ご参会いただいた各クラブの皆様には心より感謝申し上げます。



2R2Z

北上LC、和賀LC、北上国見LC、江釣子LC

2R2Z ゾーンチェアパーソン
L. 佐藤 民生 (江釣子 LC)

ガバナー公式訪問

2020年8月31日午後5時よりプランニュー北上で332-B地区2R2Z地区ガバナー公式訪問が行われました。

新型コロナウイルスの影響で、従来の合同例会は出来ずキャビネットからは地区ガバナー・第一副地区ガバナー・キャビネット幹事・キャビネット会計・ガバナー室長・ゾーンチェアパーソン、各クラブからは会長・第一副会長・幹事・会計の4役の合計22名で行われました。最初に地区ガバナー・クラブ4役懇談会がひらかれました。司会進行はキャビネット会計L.鈴木幸雄が行い、キャビネット役員を紹介、クラブ4役の紹介、地区ガバナーから挨拶をいただきました。その後キャビネット幹事の進行で懇談が行われ、各クラブから現況の報告がありました。キャビネットへの要望事項として、北上ライオンズクラブからは、新型コロナウイルス感染防止の状況下ではあるが、今年度の行事開催についての決定及び情報発信を早めていただきたいという声がありました。和賀ライオンズクラブからは、支部設立して若人と繋がりをもって楽しい活動を目指しているの、応援してほしいということでした。北上国見ライオンズクラブからは、ガバナーをお支えしながらのクラブ活動の中で至らない点もあるかもしれないが、その時は忌憚なくご指摘いただければ幸いです

とお話がありました。江釣子ライオンズクラブからは、YCEの派遣・受入のクラブ案内について、いつも例会へ提出されたときに締め切りが近く検討する時間がないため、もう少し早めにできないものかという声が寄せられました。こうして約1時間の懇談会を終えました。

公式訪問にはL.中村好雄地区常任名誉顧問が加わり、会場は密を避けて丸テーブルの5人掛けに設定、ひな壇には従来どおりキャビネット役員、各クラブ会長が着席しました。司会進行は江釣子LC幹事L.齊藤永光にて、開会宣言、国旗に敬礼、国歌斉唱ライオンズクラブの歌は省略して進め、地区ガバナーからは332-B区アクティビティスローガン「サーバントリーダーを目指し！地域にインパクトを！！」と332-B地区ガバナーテーマ「当たり前の事を当たり前！楽しく元気で行動しよう！ライオンズ！！」の詳細について20分程度あいさつをいただきました。説明いただいた内容はDVDに編集して各クラブに記念品として贈呈されました。各クラブから地区役員へは記念品を贈呈して、キャビネット幹事、キャビネット会計報告をいただき閉会いたしました。

懇親会は少ない人数ながら楽しく過ごし、また会う日までは手をつながないエアーで行いました。



北上国見ライオンズクラブの紹介

会 長

L. 梅木 忍 (北上国見 LC)

北上市は昭和の時代から企業誘致に積極的な一方、昔から商人や庶民の町だったため親しみやすく誰でも受け入れるような懐の深い地域性の特徴を持っています。日本の桜の名所、来年開園 100 周年を迎える展勝地をはじめ山と川に囲まれ豊かな自然にも恵まれています。北上市に誇りを持ち、当クラブは日本赤十字協会の献血活動への協力、青少年の健全育成への協力、慰問などの福祉事業、環境保全や他団体との国際交流などを中心に、とにかく楽しく笑顔をモットーに、元気で奉仕活動をしています。

今期はガバナー菊池徳男ライオンを送り出しているクラブということもあり、しっかりとお支えしなければとの緊張感のある活動がスタートしました。

ベテラン層から中間層、そして若手の絶妙なバランス！

誰もが対等で、気兼ねなく意見が言える雰囲気ですが、時としてはベテラン層から温かいご指導を頂き、大変まとまりのあるクラブと感じています。

地震や台風などの災害が多発した平成の 30 年間…コロナ禍の中、予測困難という難題に挑む令和。新しい生活様式の中で、本来の活動もままならない現状ですが、私たちにはより良い未来を次世代に引き継ぐ義務があります。

近年、自然災害が多発しており我々ライオンズの果たす役割の重要性はますます高まっています。「今、私たちもできることは何か？」と常に問いかけながら、明るくサステイナブルな未来を構築するために、友愛と奉仕の心を忘れず、なお一層の団結を図ってまいります。

「ピンチはチャンス！」この言葉を信じて一歩前進します。



コロナ時代の ライオンズ活動



献血推進活動

8月の夏季休暇中、岩手県内では移動の自粛要請はされていなかったが、何となくどこかに出かける雰囲気でもなく自宅でゴロゴロしていると、遠くから何かの宣伝カーらしきものが近づいてくる。何の宣伝だろうと意識を集中してみると、献血の協力依頼の車であった。どうやらコロナ禍で移動自粛した結果、献血に協力する人も自粛してしまったらしい。ライオンズクラブのアクティビティの中で、献血・献血の推進は重要な項目の一つであるが、このような事態に何か協力できることはないのだろうかと思いを巡らせてみた。

岩手県赤十字献血センターの資料によると、2019年4月から2020年3月までの1年間の県内の献血者数は25,530人（献血ルームを除く）で、そのうちライオンズクラブが協賛・協力した会場での献血者数は5,102人であった。これは全体の20%にあたる。また、献血会場数は997会場で、そのうちライオンズクラブ協賛・協力会場は151会場。全体の15.1%であった。このことから、ライオンズクラブの活動は大きな成果をあげているといえるだろう。しかし、献血という行為自体、個人の善意の行動であるから、われわれの成果とは継続したPRと少しの協賛品の提供である。（もちろんライオンズクラブ会員の中には、自ら献血に参加し、直接的に協力しているメンバーもいると思うが）。だが、この継続したPR活動というのが正に大事なのではないだろうか。各クラブが定期的に多くの人が集まる場所で献血のPRをしていることで、この場所に来れば献血をすることが出来る、次回はいつ献血カーが来るなどの情報を提供できている。このことが、献血できる年齢になった人を初めての献血に導いたり、2回目・3回目の献血協力者の獲得につながっていると考えられる。

このコロナ禍の中、非接触が推進されるなど今までにないハードルが課せられているが、衛生管理の徹底がなされている・パーソナルディスタンスが取れている・十分な換気など、今まで以上の情報を提供しながら、献血活動の推進を継続していただきたいと思う。継続は力なり。



9月のアクティビティ

盛岡レオクラブスポンサー協力金		
盛岡LC	3日	ヘッドネーション
	24日	被害者支援センターへ協賛
	24日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
盛岡不来方LC	29日	令和2年8月豪雨災害緊急支援金
盛岡中津川LC	—	
盛岡鏡武LC	8月24日	直接献血
	1日	ヘッドネーション
	5日	こどものみらい古本募金
	20日	子ども食堂
盛岡南LC	1日	ヘッドネーション
	10日	LCIF\$1000献金
滝沢LC	22日	ヘッドネーション
	24日	献血推進活動
玉山姫神LC	15日	ライオンズ公園の整備事業
1R2Z		
二戸LC	12日	馬淵川公園草刈奉仕
西根LC	19日	献血推進活動
	21日~22日	第35回西根ライオンズカップ争奪少年サッカー大会
安代LC	—	
2R1Z		
花巻LC	—	
紫波LC	30日	使用済み切手 4000枚送付
石鳥谷LC	7日	わたしの主張 花巻大会
	26日	ライオンズ校並木の除草割散布
	26日	レオクラブと合同清掃活動
花巻東LC	3日	わたしの主張 花巻大会
	14日	スペシャルオリンピックス募金
	14日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
矢巾LC	7日	LCIF\$1000献金
	16日	ライオンズ庭園の手入れと清掃
	27日	LCIF\$20 献金
2R2Z		
北上LC	8月	資源回収リサイクル活動
	6日	アジサイ剪定作業
	17日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	18日	献血推進活動
	18日	北上レオと清掃奉仕活動
	24日	ヘッドネーション
	27日,30日	あじさいリース作りボランティア活動
和賀LC	4日,25日	資源回収
	6日	アジサイ剪定作業
	9日	花壇整備除草
	17日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	18日,20日	献血推進活動
	30日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
北上国見LC	11日,18日	献血推進活動
	6日	アジサイ剪定作業
	15日,16日	LCIF\$1000献金 2件
江釣子LC	17日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)
	1日	使用済み切手 371枚送付
	6日	アジサイ剪定作業
	13日,27日	献血推進活動
	17日	ゾーン内チャリティゴルフコンペ(事業資金獲得)

3R1Z		
水沢LC	19日	「交通安全広告塔」清掃作業
江刺岩手LC	10日	岩手県障がい者スポーツ協会賛助
	10日	奥州市体育協会
	10日	いわて被害者支援センター
	21日	江刺基句まつり代替行事に協力
前沢LC	22日	献血推進活動
水沢中央LC	15日	水沢公園時計塔・藤棚の剪定清掃
	25日	奥州市市民憲章碑、碑文の彩色
	15日~29日	国立天文台水沢IVERA電波望遠鏡群運用継続を求める署名活動
金ヶ崎LC	24日	金ヶ崎町商工会女性部50周年記念誌協賛
胆沢岩手LC	1日	奥州市胆沢地区米寿の敬老会 記念品贈呈
	30日	秋の交通安全運動 一斉街頭指導
3R2Z		
一関LC	—	
平泉LC	17日	米寿の方への記念品贈呈
	26日	「弁慶の杜」草刈り・剪定作業
花泉LC	8日	カーブミラー清掃
一関中央LC	4日	使用済み切手 1000枚送付
	6日	献血推進活動
	11日	ピンクリボン活動支援
一関巖美溪LC	13日	特別養護老人ホーム「あけほの苑」に花のプランター寄贈
4R1Z		
千厩LC	19日	薬物乱用防止講座
	24日	秋の全国交通安全運動街頭活動
大東岩手LC	23日	卒寿祝い記念品贈呈
東山LC	—	
藤沢岩手LC	—	
川崎岩手LC	—	
室根LC	7日	献血推進活動
	7日	LCIF\$1000 献金、LCIF\$20 献金
	11日	特養老人ホーム「孝養ハイツ」敬老会
4R2Z		
大船渡LC	1日	ヘッドネーション
	17日	直接献血
	28日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
	30日	声の図書館の点検と整備
陸前高田LC	13日~20日	米寿の方へ記念品贈呈
	16日	ひかりの箱募金
	16日	いわて被害者支援センター
	19日	献血推進活動
住田LC	17日	ライオンズの森 草刈り作業
大船渡五葉LC	15日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
	18日	使用済み切手 1000 枚送付
5R1Z		
宮古岩手LC	—	
久慈LC	7日	「わたしの主張久慈地区大会」協賛
	16日	大浦光信公御廟所柵再建へ寄付
	20日	第17回久慈LC杯学童野球新人交流大会
陸中宮古LC	12日	秋の海ごみゼロウィーク2020in キックオフイベント
	29日	秋の全国交通安全運動街頭活動
田野畑LC	12日	LCIF\$1000 献金 2件
	29日	使用済み切手 1200 枚送付
岩泉龍泉洞LC	8月26日	献血推進活動

5R2Z		
釜石LC	16日	ひかりの箱募金
遠野LC	28日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
釜石リアスLC	23日	使用済み切手 1000枚送付
	24日	令和2年7月豪雨災害緊急支援金
大槌LC	—	
陸中山田LC	—	
ライオネスクラブ		
西根LS	—	
レオクラブ		
盛岡LEO	—	
石鳥谷LEO	25日	石鳥谷LCと合同清掃活動
北上LEO	18日	清掃奉仕活動
一関二高LEO	—	
釜石LEO	—	



会員動向

○ 9月 新入会員一覧

クラブ名	会員名 (新入 / 再入 / 転入)
滝沢 LC	L. 千葉 希
安代 LC	L. 羽 沢 憲 英
紫波 LC	L. 渡 邊 暢 也
水沢 LC	L. 坂 本 匠 吾
田野畑 LC	L. 山 根 洋 子

○ 2020年9月 LCIF \$ 1000献金

クラブ名	会員氏名	MJF回数
盛岡南 LC	L. 猿 舘 伸 俊	25
矢巾 LC	L. 斉 藤 秀 造	20
北上国見 LC	L. 塩 野 孝 江	10
北上国見 LC	L. 佐々木 正 幸	3
室根 LC	L. 小 山 督 雄	1
田野畑 LC	L. 佐 藤 辰 男	2
田野畑 LC	L. 菊 池 大	2

**卒寿の記念品
民児委に寄託**

大東岩手LC
一関市大東町の大東岩手ライオンズクラブ(LC)、及川誠会長は8日「大東」

令和2年10月15日
「岩手日日」に
掲載されました



卒寿の人に贈る記念品を千葉会長(左)に託す及川会長

地区で卒寿を迎える人に贈る記念品のバスタオルを大東地区民生児童委員協議会(千葉岩手会長)に寄託した。同LCは例年、地区内の敬老会で当祝者に記念品を贈ってきたが、今年は新型コロナウイルスの影響を受け中止となったことから同協議会に協力を依頼した。大原市民センターで及川会長が千葉会長に記念品を委託。及川会長は「今年度は148人の方が卒寿を迎えられた。お届けいたげるようお願いいたします」と話した。

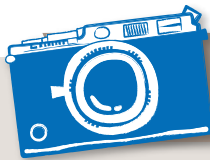
**ライオンズクラブ国際協会
OSEAL 調整事務局電話番号変更
について**

新しい電話番号 / 03-4589-5012 (代)

この電話番号はEメールにアクセスできる環境にいる限り、在局している、いないに関わらず対応可能です。

- クラブ用品注文書送付先
FAX 03-4589-4988
E-mail oseal-clubsupply@lionsclubs.org
- LCIF寄付報告書送付先
FAX 03-4589-4990
E-mail LCIFtokyo@lionsclubs.org

※現在の電話番号も当分の間使用可能ですが、各職員への転送機能は備わっていません。
※新しい番号は米国本部のシステムを使用しているため、お使いの電話サービスによっては番号が非通知表示となったり、海外の番号が表示されたりすることがありますのでご注意ください。



アクティビティ フォトグラフ

玉山姫神LC



ライオンズ公園整備作業

江釣子LC



2R2Z 合同 あじさい剪定作業

水沢LC



清掃活動

千厩LC



薬物乱用防止講座

花泉LC



町内カーブミラー清掃

室根LC



孝養ハイツ敬老会に記念品贈呈

釜石LC



光の箱募金回収

陸前高田LC



献血推進活動

編集後記

3か月前の7月25日、モーリシャス沖で“わかしお”が座礁し、燃料の重油が流出する事故がありました。一説には以前の環境を取り戻すのに数十年かかるそうです。しかし、日本国内では既にこのニュースはあまり報じられなくなりました。東日本大震災から10年を迎える今期、他国だけでなく日本国内でも過去のこととされているかもしれませんが、ライオンいわてでは県内の沿岸クラブのご協力を頂き、震災から変わった事・変わらない事を随時掲載していきます。また、このコロナ禍の中で通常の活動が行いづらい環境とは思いますが、各クラブのアクティビティなども多く掲載していきたいと思っておりますので、情報提供をお待ちしております。

副編集長 L. 藤崎 信男(江釣子LC)

表紙の説明：網取断層と和賀の松島

国道107号を北上から秋田方面に向かっていくと石羽根ダムで堰き止められた湖があります。北岸には網取断層があり、南斜面には赤松が見えます。この風景は日本三景の一つ松島の海岸線を連想させることから「和賀の松島」と呼ばれます。

発行 2020年10月26日

ライオンズクラブ国際協会332-B地区 キャビネット事務局

ライオンいわて編集委員会

発行人：L. 菊池 徳男(北上国見LC)
 編集長：L. 佐々木 正幸(北上国見LC)
 副編集長：L. 菅原 浩(北上国見LC)、L. 藤崎信男(江釣子LC)
 編集委員：L. 斎藤能久(北上LC)、L. 田鎖智也(北上LC)
 L. 田村浩美(和賀LC)、L. 武田 実(和賀LC)
 L. 及川純子(北上国見LC)、L. 菅野秀和(江釣子LC)

印刷：株式会社フジサキ

編集事務局：〒024-0061 岩手県北上市大通り3-1-1 JTSビル2F

TEL0197-64-5454 FAX0197-64-5869

E-mail: kunimilc@vesta.ocn.ne.jp